メモリレコーダー
MX5
取扱説明書

１－６版

ご使用上のご注意

ご使用前に、必ずこの「取扱説明書」をお読みください。
お読みになった後は、必ず装置の近くの見やすいところに大切に保管してください。

警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、傷害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

絵表示の説明

●注意（警告を含む）
が必要なことを示す記号

一般的注意

手がはさまれる

●必ずしてほしい行為
（強制、指示行為）を示す記号

一般表示

プラグをコンセントから抜く

●してはいけない行為
（禁止行為）を示す記号

禁止

水ぬれ禁止

水場での使用禁止

分解禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

警告

◆万一、本製品に次のような異常が発生したときは、使用を中止してください。

※火災や感電、やけど、故障の原因になります。

- 煙が出ている、異臭がするなどの異常のとき。
- 内部に水や物が入ってしまったとき。
- 落としたりキャビネットが破損したとき。
- 電源コードが傷んだとき（芯線の露出、断線など）。

■このようなときはすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、本製品を設置した業者または当社に修理を依頼してください。

■お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。

◆不安定な場所に置かない

※ぐらついた台の上や傾いた所には置かないでください。落下したり、倒れたりして怪我や故障の原因になります。

◆表示された電源電圧以外で使用しない

※火災や感電、やけど、故障の原因になります。

◆内部に物を入れない

※通風孔などから金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災や感電の原因になります。

◆ぬらさない

※火災や感電の原因になります。

◆雷が鳴り出したら、電源プラグをコンセントから抜く

※感電や故障の原因となります。

◆電源プラグは、すぐ抜ける場所にあるコンセントに差し込む

※本製品に異常が発生したときは、電源プラグをコンセントからすぐ抜いてください。

◆本製品のカバー、キャビネットは外したり、改造しない

※内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因となります。内部の点検・修理の際は当社にご連絡ください。

◆電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む

※ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。また、たこ足配線はしないでください。

◆電源コードを傷つけない

※電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- ・電源コードを加工しない。
- ・無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
- ・電源コードの上に機器本体や重いものをのせない。
- ・電源コードを熱器具に近づけない。

注意

◆本製品を以下のような場所に置かない

※火災や感電の原因になります。

- 湿気や埃の多いところ。
- 油煙や湯気の当たるところ。
- 熱器具の近くなど。
- 窓際など水滴の発生しやすいところ。

◆他の機器と接続するときは、接続する機器の電源を切り、それぞれの説明書に従う

※指定以外のコードを使用したり、延長したりすると発熱し、火災や、やけどの原因となることがあります。

◆通風孔をふさがない

※通風孔をふさぐと内部の熱が逃げないので、火災の原因となることがあります。

・横倒し、逆さま（あおむけ）にしない。

※通風孔をふさいだり、すき間から異物を指し込まないでください。故障の原因となることがあります。

◆移動するときは、電源プラグや接続コード類をはずす

※接続したまま移動するとコードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

◆この機器の上に重い物を置かない

※重い物や本体からはみ出るような物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりしてけがの原因となることがあります。

◆長時間使用しない時は、電源プラグを抜く

※電源が「切」でも機器に電気が流れていますので、安全及び節電のため電源プラグを抜いてください。

◆お手入れをするときは電源プラグを抜く

※電源が「切」でも機器に電気が流れていますので、感電の原因となることがあります。

◆電源プラグはコードの部分を持って抜かない

※電源コードを引っ張るとコードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。プラグの部分を持って抜いてください。

◆濡れた手で電源を抜き差ししない

※感電の原因となることがあります。

免責事項

・本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断、記憶内容の変化・消失等）に関して、当社はいかなる責任も負いかねます。

・取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社はいかなる責任も負いかねます。

・接続機器との組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社はいかなる責任も負いかねます。

・万一、製品不具合や停電などの外的要因で、音声の品質に障害を与えり、データ内容が破損や消失のあった場合でも、本製品の修理以外の責はご容赦願います。

＜　目次　＞

１．はじめに 1

１－１．装置の特長 1

１－２．構成 1

２．準備 2

２－１．フロントパネル各部の名称と働き 2

２－２．リヤパネル各部の名称と働き 4

２－３．表示画面 5

２－３－１．リスト画面 5

２－３－２．カウンタ画面 6

２－３－３．ＭＥＮＵ画面 7

２－４．外部制御入出力インターフェース 8

２－４－１．接点制御入力（トランスポートモード） 8

２－４－２．接点制御出力 8

２－４－３．接点制御入力（３ビットアドレスモード） 9

２－４－４．接点制御入力（２ビットアドレスモード） 10

２－４－５．接点制御一般 10

２－４－６．シリアル制御 11

２－５．メディアの挿入 12

２－６．メディアの取り出し 12

２－７．デジタル入力とレートコンバート機能 13

２－８．設置について 13

２－９．パスワードについて 13

２－１０．メディアのフォーマットについて 13

３．基本操作 13

３－１．起動 13

３－２．メディア挿入 13

３－３．リスト画面＆カウンタ画面切り替え 14

３－４．再生 14

３－５．巻き戻し、早送り、キュー、レビュー 15

３－６．録音 16

３－７．有音検知、無音検知録音 18

３－８．時間指定録音 18

３－９．トラックアップ録音 18
３－１０．ラインオン、ラインオフ 18
３－１１．クイックモード 18

４．その他の操作 19

４－１．リスト編集 20
４－１－１．リスト編集（素材移動） 20
４－１－２．リスト編集（素材消去） 21
４－１－３．リスト編集（素材複写） 21
４－１－４．リスト編集（Import） 22
４－１－５．リスト編集（Import All） 22
４－１－６．リスト編集（Export） 23
４－１－７．リスト編集（Export All） 23
４－１－８．リスト編集（Renumber） 24
４－１－９．リスト編集（Create） 24
４－１－１０．リスト編集（Mark Clear） 24
４－２．入力レベル設定(ANALOG INPUT LEVEL) 24
４－３．入力バランス設定(ANALOG INPUT BALANCE) 25
４－４．有音検知(SOUND DETECT) 25
４－５．無音検知(SILENCE DETECT) 26
４－６．時間指定録音(AUTO REC STOP) 26
４－７．設定(SETUP) 27
４－７－１．サンプリング周波数設定（Sampling Freq) 28
４－７－２．量子化ビット数設定（Sampling Bits) 28
４－７－３．チャネル数設定(Channels) 28
４－７－４．入力源選択(Input Source) 28
４－７－５．サンプリングレートコンバーター設定（Sampling Freq Convert) 28
４－７－７．有音検知パラメータ設定(Sound Detect) 29
４－７－８．無音検知パラメータ設定(Silence Detect) 29
４－７－９．録音操作設定(Rec Operation Mode) 29
４－７－１０．再生優先モード設定(Play Priority) 30
４－７－１１．LR Mix モード設定(LR Mix) 30
４－７－１２．繰り返し再生設定(Repeat Play) 30
４－７－１３．STOP/NEXT リピートモード設定（Repeat StpNxt) 30
４－７－１４．STOP/NEXT 設定(Auto StpNxt) 30
４－７－１５．時間表示設定(Disp Time) 30

４－７－１６．ピークマージン設定(Peak Margin) 30
４－７－１７．S/PDIF コピープロテクト設定（SPDIF Copy Protect) 30
４－７－１８．スタンバイ設定（STBY Standby Position) 30
４－７－１９．外部制御設定（External Input, External Output) 30
４－７－２０．表示輝度調整(Display Brightness) 30
４－７－２１．起動時ラインオン設定（Initial Line Status) 30
４－７－２２．起動時ロック設定（Initial lock Status) 30
４－７－２３．ラインボタン設定(Line Key) 31
４－７－２４．パスワード設定(Pass Word) 31
４－７－２５．日付設定(Date) 31
４－７－２６．時刻設定(Time) 31
４－７－２７．ＵＳＢモード選択(USB Mode) 31
４－７－２８．ＩＰアドレス設定(IP Address) 31
４－７－２９．サブネットマスク設定(Subnet Mask) 31
４－７－３０．ＭＡＣアドレス表示(MAC Address) 31
４－７－３１．シリアル番号表示(Serial No.) 31
４－７－３２．バージョン表示(Version) 31
４－７－３３．バージョンアップ(Version Up) 31
４－７－３４．シリアルポート設定(Serial Port) 32
４－８－３５．PAUSE 解除方法選択（Serial Port) 32
４－８－３６．カウンタ画面でのスクロールボタン機能選択（Dial on Counter-Screent) 32
４－８－３７．警告ブザーのオンオフ設定カ（CF Cover Buzzer) 32
４－８－３８．再生中のスクロールダイアル機能設定（Dial-Scroll on Play) 32
４－８－３９．Stp/Nxt 中のマークジャンプ設定（Markjump on StopNext) 32
４－８．メディアメンテナンス 34
４－８－１．Cleanup 34
４－８－２．File Delete 34
４－８－３．Media Copy 34
４－８－４．Format 34
５．ライセンスについて 35
６．主な仕様 35

【ご注意】

本製品の内容は、製品改良のため、予告無しに変更することがあります。機能などに関するご質問は、当社営業まで、ご連絡ください。

Firefox は米国 Mozilla Corporation が提供するウェブブラウザです。
Microsoft、Internet Explorer 及びそれぞれのロゴは米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
CompactFlash（コンパクトフラッシュ）は、米サンディスク社の登録商標です。
その他本書に記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

１．はじめに

本装置は、入力１系統、出力１系統のメモリレコーダーです。メディアはＣＦカード、ＵＳＢメモリを使用することができます。

フロントパネルからの操作で録音と再生を行うことができます。外部からの接点入力による録音、再生を行うこともできます。

記録フォーマットはＷＡＶＥフォーマットに対応しており、他の装置とのデータ交換が容易に行えます。本体は１Ｕのコンパクトサイズで、省スペース化を図ることができます。

１－１．装置の特長

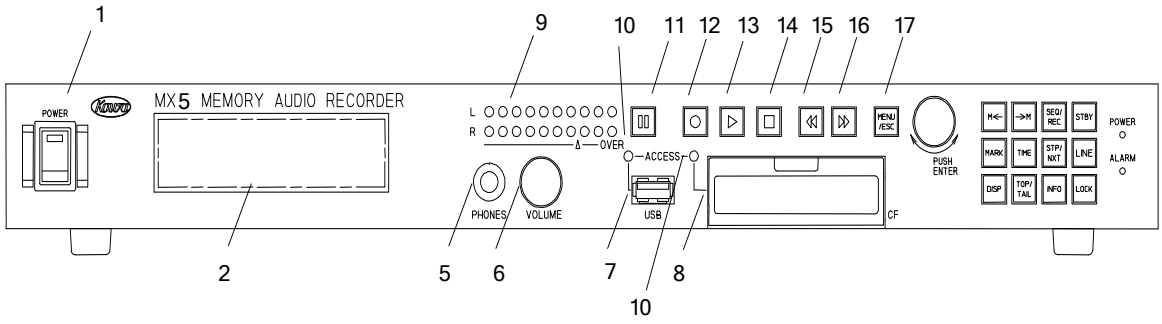
①本装置では、メディアとして、ＣＦカード（CompactFlash）、ＵＳＢメモリの使用が可能です。ファイルフォーマットとしてＷＡＶＥフォーマットを使用しています。
②フロントパネルからのボタン操作により、録音や再生を行います。
③接点による外部からの制御が行えます。
④日本語素材名をフロントパネルに表示します。
⑤ＣＦカードまたはＵＳＢメモリ装着後、直ちに録音、再生が行えます。
⑥ＣＦカードスロットには、誤操作回避用にセンサ付きのふたを設けてあります。
⑦ＵＳＢメモリについては、ダイレクトモードとコピーモードがあります。コピーモードとは、ＵＳＢメモリ装着後、ＣＦカードからＵＳＢメモリにコピーするモードです。ダイレクトモードとは、ＵＳＢメモリに対しても直接保存を有効にするモードです。両者の選択は、ユーザー設定で行います。より安全な操作を求めるユーザーはコピーモードを、手軽さを求めるユーザーはダイレクトモードを、状況に合わせて選択できます。出荷時はコピーモードに設定されています。
⑧メディアフォーマットについて、ＭＸ１０と互換性があります。
⑨ネットワークからの設定がＰＣブラウザから行えます。
⑩ネットワークからの監視と制御が当社ＰＣソフト「ＭＸ用アプリケーションソフト」にて行えます。
⑪専用リモコン（ＲＵ１０）が使用できます。

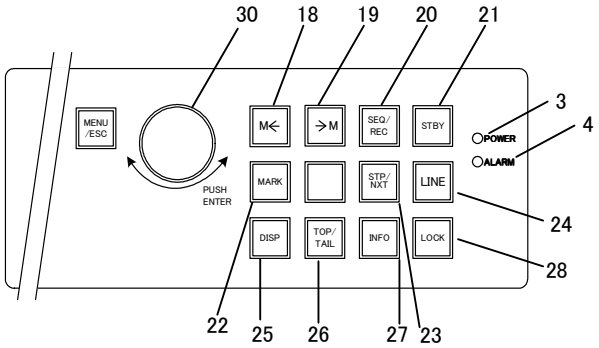
１－２．構成

① 本体 1
② 取扱説明書（本書） 1
③ ラック取付用フリンジ 1
④ ＡＣケーブル 1
⑤ 保証書 1
⑥ 電源ケーブルロック金具 1

２．準備

２－１．フロントパネル各部の名称と働き





各部の名称と働きを以下に示します。

１．　電源スイッチ
　　本体電源のＯＮ／ＯＦＦを行います。録音再生中などの各種操作中と設定保存中に電源を切らないでください。データが破壊される場合があります。

２．　表示器
　　素材名やカウンタ表示を行います。

３．　ＰＯＷＥＲ　ＬＥＤ
　　電源オンで点灯します。

４．　ＡＬＡＲＭ　ＬＥＤ
　　ＣＰＵが異常を検知したときに点灯します。

５．　ヘッドフォンジャック
　　６．３φフォンジャックです。

６．　音量調整用つまみ
　　ヘッドフォンの音量を調整します。

７．　ＵＳＢコネクタ
　　ＵＳＢメモリを挿入します。

８．　カードスロット
　　ＣＦカードを挿入します。

９．　ピークメーター
　　再生時はライン出力のレベルを表示、録音時はライン入力のレベルを表示します。
　　録音時、入力レベルがオーバーすると、右端の OVER LED が点灯します。再度、録音を行うか、再生を行うと、消灯します。

１０．アクセスＬＥＤ
　　メディアとして認識された場合に点灯し、アクセス中は点滅します。
　　ＣＦカードの場合は、フタを閉じて、メディアの内容がリスト画面に表示されるまでは点灯しません。
　　ＬＥＤ点滅中にメディアをとりはずした場合、データが破壊される場合があります。

１１．ＰＡＵＳＥ
　　一時停止ボタンです。

１２．ＲＥＣ
　　録音ボタンです。再生ボタンと組み合わせて使用します。

１３．ＰＬＡＹ
　　再生ボタンです。

１４．ＳＴＯＰ
　　停止ボタンです。

１５．ＲＥＷＩＮＤ
　　巻き戻しボタンです。

１６．ＦＦ
　　早送りボタンです。

１７．ＭＥＮＵ／ＥＳＣ
　　ＭＥＮＵ画面表示または、選択ダイアログ時の操作キャンセルに使用します。

１８．M←
　　左にマークジャンプします。

１９．→M

右にマークジャンプします。

２０．ＳＥＱ／ＲＥＣ

長押しすることで点灯し、ＳＥＱ　ＲＥＣモード（連続録音モード）になります。

２１．　ＳＴＢＹ

再生スタンバイします。スタンバイ状態では緑色に点灯します。このＬＥＤが点灯状態にある場合、ＢＷＦ－Ｊキューに対応した動作となり、キュー出力されます。長押しで動作します。

２２．ＭＡＲＫ

現在示している時間軸上にマークを記します。
マークの削除方法は、削除したいマークにジャンプした状態でこのボタンを押すとマークが削除されます。

２３．ＳＴＰ／ＮＸＴ

長押しすることで点灯し、ＳＴＯＰ　ＮＥＸＴモードとなります。

２４．ＬＩＮＥ

ラインのオン、オフを行ないます。長押しで動作します。

２５．ＤＩＳＰ

リスト表示とカウンタ表示を切り替えます。

２６．ＴＯＰ／ＴＡＩＬ

一度押すと先頭に跳び、先頭にある状態で再度押すと、最後部に跳びます。

２７．ＩＮＦＯ

素材の情報を表示します。長押しで動作します。

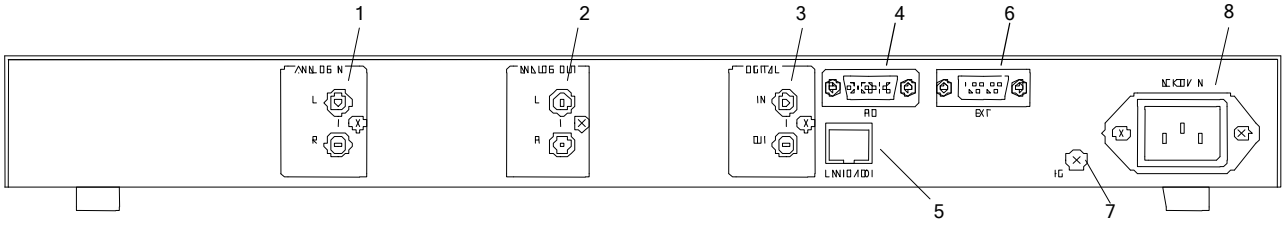
２８．　ＬＯＣＫ

操作パネルのロックのＯＮ／ＯＦＦを行ないます。長押しで動作します。ロック中は赤色に点灯し、ロックボタン以外の操作は無効となります。

２９．スクロールダイアル

素材リスト表示では、素材の選択に使用します。
カウンタ画面では、ヘッダ位置の移動に使用します。
このダイアルは、ＥＮＴＥＲボタンを兼ねており、設定時のＥＮＴＥＲ押下に使用します。また、カウンタ画面においてこのダイアルを押すと、再生状態（ナッジモード、スクロールモード、ＪＯＧモード、シャトルモードの各状態）を変更できます。

２－２．リヤパネル各部の名称と働き



１．アナログラインイン（不平衡入力）
　　不平衡アナログ入力コネクタです。
２．アナログラインアウト（不平衡出力）
　　不平衡アナログ出力コネクタです。
３．Ｓ／ＰＤＩＦイン、Ｓ／ＰＤＩＦアウト
　　Ｓ／ＰＤＩＦ入力信号、出力信号を接続します。
４．ＰＩＯ（台座：インチ）
　　外部制御入出力信号を接続します。
５．ＥＴＨＥＲ　ＮＥＴ
　　設定用に使用します。
６．ＥＸＴ（ＲＳ２３２Ｃ／台座：インチ）
　　外部制御装置または専用リモコンを接続します。
７．機能ＧＮＤ。
８．ＡＣインレット
　　ＡＣ１００Ｖに接続してください。
　　同梱の外れ止め金具をはめて、ご使用ください

２－３．表示画面

表示画面には、

１．リスト画面

２．カウンタ画面

３．ＭＥＮＵ画面

の３種類があります。

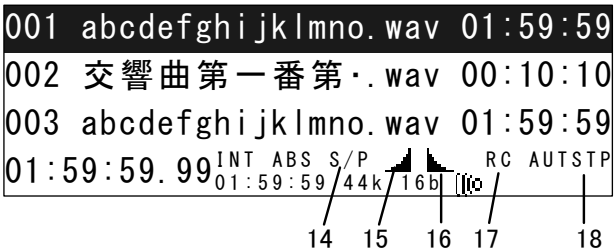
リスト画面は、各素材をリスト表示します。最大９９９個まで素材登録できます。素材数の数が増えると、操作が重く感じる場合があります。また、ＤＩＳＰボタンを押すとカウンタ画面表示となり、カウンタ値の文字サイズを拡大して表示します。

録音ではリスト画面上の空きリストを選択後、録音開始すると、自動的にカウンタ画面表示となります。
録音と再生では、若干表示が異なります。

ＭＥＮＵ画面は各種、設定に使用します。ＭＥＮＵ画面とリスト画面、カウンタ画面の切り替えは、ＭＥＮＵ／ＥＳＣボタンで行ないます。

２－３－１．リスト画面

再生時



録音時

１．　リスト番号及び素材リスト（上３行）
スクロールダイアルでロールアップ・ダウンします。
番号は９９９までです。

２．　素材名
全角８桁以上は表示できません。

３．　素材時間（登録時間）
時：分：秒で表示します。

４．　LAP TIME
ラップタイム時間を表示します。
設定で表示位置をＲＥＭＡＩＮ　ＴＩＭＥと変更することが可能です。

５．　同期源
INT：内部同期であることを表します。表示は変化しません。

６．　REMAIN TIME
リメイン時間を表示します。

７．　カウンタモード
MX シリーズでは、ABS：先頭位置が基準のカウンタ表示と、STB：スタンバイ位置を基準としたカウンタ表示の 2 種類がありますが､MX5 では ABS 固定です。

８．　リピートモード
この表示がある場合、素材の末尾まで再生したとき、先頭からの自動再生を繰り返します。

９．　サンプリング周波数
32k：３２ｋＨｚサンプリングを示します。
44k：４４．１ｋＨｚサンプリングを示します。
48k：４８ｋＨｚサンプリングを示します。

96k：９６ｋＨｚサンプリングを示します。

注意：２４ビット９６ｋHz サンプリング録音は行えません。２４ビット設定で、９６ｋHz にするとビット数１６に、９６ｋHz サンプリングの設定で、２４ビットにすると強制的に４８ｋHz になります。

１０．ＳＴＯＰ／ＮＥＸＴリピートモード
この表示がある場合、素材リストの最後の再生が終わると、自動的に素材リストの先頭素材に戻ります。

１１．ビット数
16b：１６ビット素材を示します。
24b：２４ビット素材を示します。

１２．ステレオ、モノラルを示します。

１３．鍵表示
当社製ＭＯレコーダーＡＦ７７０でプロテクト設定をした素材であることを示します。この表示はＡＦ７７０との相互運用性の観点から設けてあるもので、本装置の動作はプロテクト設定の有無に影響されません。また、本装置からプロテクト設定を変更することもできません。

１４．入力源
RCA：アナログＲＣＡ入力を示します。
S/P：Ｓ／ＰＤＩＦ入力を示します。

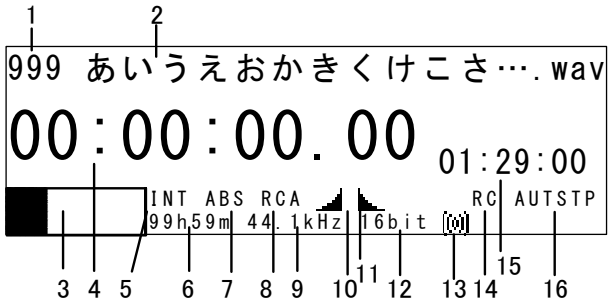
１５．有音検知（録音時に表示）
この表示がある場合、有音検知が有効であることを示します。

１６．無音検知（録音時に表示）
この表示がある場合、無音検知が有効であることを示します。

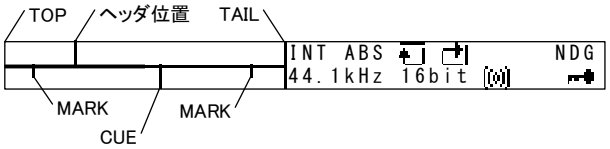
１７．レートコンバート
この表示がある場合、レートコンバート機能が有効であることを示します。

１８．AUTO REC STOP
時間指定録音が有効であることを示します。

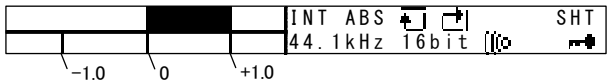
２－３－２．カウンタ画面



カウンタ画面録音時



カウンタ画面（下部）再生時スクロール・ジョグ・ナッジモード



カウンタ画面（下部）再生時シャトルモード

カウンタ画面は録音状態、再生状態（ナッジモード、スクロールモード、ＪＯＧ モード、シャトルモードの各状態）で画面下部の表示が異なります。また、再生状態では、ダイアル回転時の動作が異なります。再生状態のカウンタ画面でスクロールダイアルを押すと、ダイアルモードを切り替えることができます。

ナッジモードでは、再生停止中にダイアルを回すことで、ヘッダ位置を１０ｍｓ単位で動かすことができます。

スクロールモードでは、再生停止中にダイアルを回すことで、ヘッダ位置を粗く動かすことができます。ダイアル回転量に対する移動量は、素材の長さに応じて変化します。

シャトルモードでは、ダイアルを回転させることで、前方・後方へ可変速再生を行います。

ＪＯＧモードでは、ダイアルを回転させることで、回転した方向へ、回転量に応じた長さだけ再生します。

１．　リスト番号
番号は９９９までです。

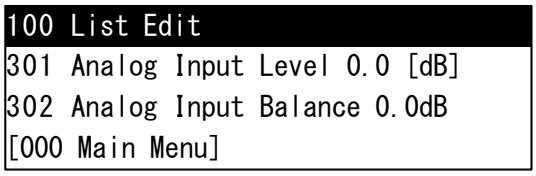
２．　素材名

３．　空き容量バー
空き容量をバー表示します。

４．　ＬＡＰ　ＴＩＭＥ
ラップタイム時間を表示します。
設定で表示位置をＲＥＭＡＩＮ　ＴＩＭＥと変更することが可能です。

５．　同期源
INT：内部同期であることを表します。表示は変化しません。
６．　REMAIN TIME
リメイン時間を表示します。
７．　カウンタモード
MX シリーズでは、ABS：先頭位置が基準のカウンタ表示と、STB：スタンバイ位置を基準としたカウンタ表示の２種類がありますが､MX5 では ABS 固定です。
８．　入力源
RCA：アナログＸＬＲ入力を示します。
S/P：Ｓ／ＰＤＩＦ入力を示します。
９．　サンプリング周波数
32.0kHz：３２ｋＨｚサンプリングを示します。
44.1kHz：４４．１ｋＨｚサンプリングを示します。
48.0kHz：４８ｋＨｚサンプリングを示します。
96k：９６ｋＨｚサンプリングを示します。
注意：２４ビット９６ｋHz サンプリング録音は行えません。２４ビット設定で、９６ｋHz にするとビット数１６に、９６ｋHz サンプリングの設定で、２４ビットにすると強制的に４８ｋHz になります。
１０．有音検知（録音時に表示）
この表示がある場合、有音検知が有効であることを示します。
１１．無音検知（録音時に表示）
この表示がある場合、無音検知が有効であることを示します。
１２．ビット数
16bit：１６ビット素材を示します。
24b：２４ビット素材を示します。
１３．ステレオ、モノラルを示します。
１４．レートコンバート
この表示がある場合、レートコンバート機能が有効であることを示します。
１５．AUTO REC STOP
時間指定録音が有効であることを示します。

２－３－３．ＭＥＮＵ画面



基本操作以外はＭＥＮＵ画面で行ないます。各機能の横の数字は、各機能に１毎に割り振られた機能番号です。

２－４．外部制御入出力インターフェース

外部制御には、接点制御とシリアル制御があります。
接点制御入力には、

・トランスポートキーモード
・３ビットアドレスモード
・２ビットアドレスモード

の３種類があります。
接点制御出力は、一種類しかありません。
シリアル制御には、

・Ａモード
・Ｂモードの２種類があります。

２－４－１.接点制御入力(トランスポートモード)

インターフェースの仕様は以下の通りです。メイクで有効、ブレイクで無効になります。フロントパネルからの操作と同一の動作です。

設定の４６０　Ｅｘｔｅｒｎａｌ　Ｉｎｐｕｔを選択し、Ｔｒａｎｓｐｏｒｔ　Ｋｅｙ　Ｍｏｄｅを選択すると、４つの入力に対して設定が行えます。

＜入力の種類と機能＞

種類	特性	機能
NO USE	－	使用しないことを意味します。
PLAY	PULSE	再生ボタンの動作に相当します。
STOP	PULSE	停止ボタンの動作に相当します。
PAUSE	PULSE	一時停止ボタンの動作に相当します。
REC	PULSE	録音ボタンの動作に相当します。
DIRECT REC	PULSE	録音を開始します。
REW	PULSE	ＲＥＷボタンに相当します。
FFW	PULSE	ＦＦボタンに相当します。
MARK	PULSE	マークを打ちます。
PLAY-1	PULSE	インデックス１を再生します。
PLAY-2	PULSE	インデックス２を再生します。
PLAY-3	PULSE	インデックス３を再生します。
PLAY-4	PULSE	インデックス４を再生します。
DIAL-PLUS	PULSE	スクロールダイアルを１ティック右に回すのに相当します。 素材リストを１つ下げることができます。
DIAL-MINUS	PULSE	スクロールダイアルを１ティック左に回すのに相当します。 素材リストを１つ上げることができます。

全てメイクでアクティブです。

２－４－２．接点制御出力

設定の４７０　Ｅｘｔｅｒｎａｌ　Ｏｕｔｐｕｔを選択すると、３つの出力に対して割付けが行えます。

＜出力の種類と機能＞

種類	特性	機能
NO USE	－	使用しないことを意味します。
PLAY-TALLY	STATUS	再生中を示します。
STOP-TALLY	STATUS	停止中を示します。
PAUSE-TALLY	STATUS	再生一時停止中を示します。
REC-TALLY	STATUS	録音中を示します。
REC STANDBY TALLY	STATUS	録音スタンバイ中を示します。
REW-TALLY	STATUS	巻き戻しまたはレビュー中を示します。
FFW-TALLY	STATUS	早送りまたはキュー中を示します。
STANDBY-TALLY	STATUS	音声素材（ファイル）のスタンバイ中を示します。 BWF-J スタンバイが打たれている場合、この位置でスタンバイします。 BWF-J スタンバイがなく、BWF-JSTART がある場合、この位置でスタンバイします。 両者のいずれも存在しない場合、先頭でスタンバイします。 STP/NXT モードにおいては、再生を行うと次の素材のスタンバイ前に出力はいったんインアクティブになり、その後スタンバイ完了でタリーが再度、アクティブになります。
STANDBY-DELAY-TALLY	STATUS	音声素材（ファイル）のスタンバイ中を示します。 BWF-J スタンバイが打たれている場合、この位置でスタンバイします。 BWF-J スタンバイがなく、BWF-JSTART がある場合、この位置でスタンバイします。 両者のいずれも存在しない場合、先頭でスタンバイします。 STP/NXT モードにおいては、再

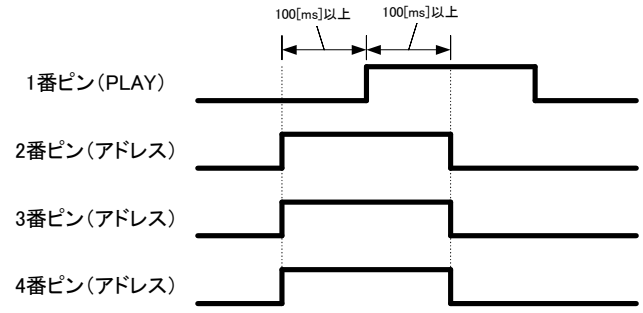
		生を行うと、3秒間はタリー出力をアクティブにします。従って、次の素材があり問題なくスタンバいできる場合、スタンバイタリーは常時アクティブのままになります。
MEDIA-TALLY	STATUS	CF カードまたは USB メモリが挿入されているとことを示します。
CF-MEDIA-TALLY	STATUS	CF カードが挿入されているとことを示します。
USB-MEDIA-TALLY	STATUS	CF カードまたは USB メモリが挿入されているとことを示します。
PLAY-END-CUE	PULSE	再生終了時に出力します。
FILE END CUE	PULSE	素材の最後を再生すると、出力します。
EJECT ALARM	STATUS	再生中などにメディアが抜かれた場合に出力します。
PLAY READY TALLY	STATUS	スタンバイ状態でかつラインオン状態であることを示します。

２－４－３．接点制御入力（３ビットアドレスモード）

３ビットアドレスモードでは、input 2～4 への入力で再生する素材を指定し、input 1 への入力がメイクされたタイミングで再生を開始します。

入力	機能	特性	説明
Input1	PLAY	PULSE	メイクされたとき、input2～4 で指定した素材の再生を開始します。
Input2 Input3 Input4	アドレス	PULSE	input1 がメイクされたときに再生する素材リスト番号を、input 2 を MSB とする 3 桁の 2 進数で指定します。各ピンとも、メイクは 1 を、ブレイクは 0 を意味します。例えば、input 2 メイク、input 3 メイク、input 4 ブレイクのとき、$110_{(2)}$=6 を意味します。 例外として、全ピンともブレイクのときは、素材リストの 8 番を意味します。

input1(PLAY)のメイクは、input2～4(アドレス)の入力が確定してから 100[ms]以上経過後に行なってください。また、input1 のメイク時点から 100[ms]以上、input2～4 の入力を保持してください。



２－４－４．接点制御入力（２ビットアドレスモード）

２ビットアドレスモードでは、input 3, 4 への入力で再生する素材を指定し、input 1 への入力がメイクされたタイミングで再生を開始します。また、input 2 への入力がメイクされると、再生を停止します。

入力	機能	特性	説明
Input1	PLAY	PULSE	メイクされたとき、input 3, 4 で指定した素材の再生を開始します。
Input2	STOP	PULSE	メイクされたとき、再生を停止します。このとき、input 3, 4 の指定が再生中の素材と一致している必要はありません。
Input3 Input4	アドレス	STATUS	input1 がメイクされたときに再生する素材リスト番号を、input3 を MSB とする 2 桁の 2 進数で指定します。各ピンとも、メイクは 1 を、ブレイクは 0 を意味します。例えば、input2 メイク、input3 ブレイクのとき、$10_{(2)}$=2 を意味します。 例外として、両ピンともブレイクのときは、素材リストの 4 番を意味します。

input3, 4 の入力と、input1 のメイクのタイミングについては３ビットアドレスモードを参照ください。

２－４－５．接点制御一般

接点制御は入力にフォトカップラー、出力にフォトＭＯＳリレーを使用しています。出荷時はトランスポートキーモードで出荷されます。

＜外部制御インターフェース＞

	系統数	種類	構成
入力	４	セットアップによる選択	フォトカップラー
出力	５	セットアップによる選択	フォト MOS リレー

ピンアサインは以下の通りです。

＜ピンアサイン：ＤＳＵＢ高密度１５ピン：メス座＞

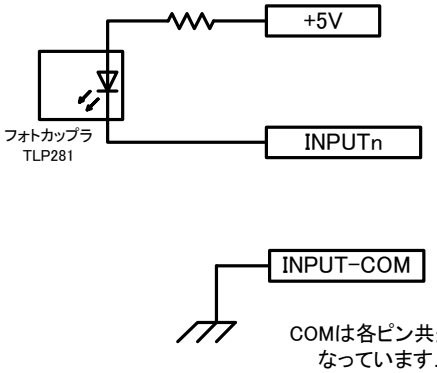
ピン番号	種類	ピン番号	種類	ピン番号	
１	input1 (PLAY)	２	input2 (STOP)	３	input3 (PAUSE)
４	input4 (REC)	５	input-com	６	output1 (PLAY)
７	output2 (STAND BY TALLY)	８	output3 (REC TALLY)	９	output4 (REC STBY TALLY)
１０	output5 (STOP TALLY)	１１	output1 com	１２	output2 com
１３	output3 com	１４	output4 com	１５	output5 com

（）内は出荷時の設定です。

＜入力 IF＞

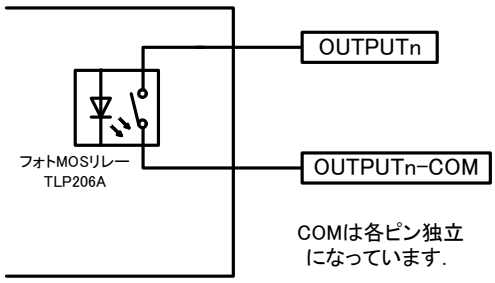
定格

最大直流順電流	１５mA
直流逆電圧	５V



無電圧接点を接続してください。

＜出力 IF＞



定格

最大負荷電流	１００mA
定格電圧	２４V

フォトＭＯＳリレー保護のため、ヒューズが入っています。

２－４－６．シリアル制御

ＭＸ１０の動作を外部機器からシリアル（RS-232C）で制御することができます。次の２種類のモードから選択して利用することができます。

工場出荷時、ＥＸＴコネクタは、当社製リモコン（ＲＵ１０：オプション品）が接続できるようになっています。シリアル制御を行う場合、ＬＡＮ経由で装置の設定を行う必要があります。詳細は、当社営業にお問い合わせください。

Ａモードシリアル制御

Ａモードシリアル制御の電文フォーマットは、〈STX〉で始まり「;」(コロン)で終わります。

Ｂモードシリアル制御

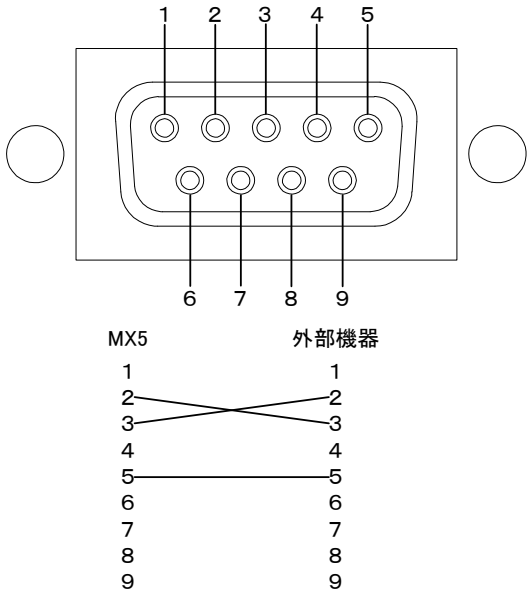
Ｂモードシリアル制御の電文フォーマットは、ニーモニックで始まり〈CR〉で終わります。

制御モードの切り替えは、本体の設定画面から行います。設定の４Ａ０　Ｓｅｒｉａｌ　Ｐｏｒｔ、４Ａ１　Ｓｅｒｉａｌ　Ｐｒｏｔｃｏｌの順に設定します。また、通信のボーレートは設定の４Ａ０　Ｓｅｒｉａｌ　Ｐｏｒｔ、４Ａ２　Ｓｅｒｉａｌ　Ｂａｕｄｒａｔｅの順に設定します。

シリアル制御インターフェースの基本仕様は次の通りとなっています。制御コマンド仕様については、別冊の**製品仕様書**をご参照ください。

信号レベル	RS-232C レベル
ボーレート	4800bps 9600bps 19200bps 38400bps
結線	TXD, RXD, GND
パリティ	なし
データ長	８ビット
ストップビット	１ビット
フロー制御	なし

コネクタ及びケーブルの仕様は次の通りです。



DELC-J9PAF-20L9E(JAE) #4-40 インチネジ付
接続ケーブル仕様
適合プラグ：DE-9SR(JAE)
適合シェル：DE-C1-J6-S6R(JAE)

端子番号	信号名
1	NC
2	RXD
3	TXD
4	DTR
5	GND
6	DSR
7	RTS
8	CTS
9	NC

２－５．メディアの挿入

メディアを挿入し、録音、再生の準備が整うとアクセスＬＥＤが点灯します。また、データ転送中は、点滅します。

ＣＦカードの場合、スロットに挿入して蓋を閉じ、録音、再生の準備が整うとアクセスＬＥＤが点灯します。**メディアを挿入するだけでは、アクセスＬＥＤは点灯しません。蓋を閉じる必要があります。**

ＵＳＢメモリの場合、設定「ＵＳＢ　Ｍｏｄｅ（ＤＩＲＥＣＴ／ＣＯＰＹ）」で次の２種類の動作があります。各モードの動作は、以下の通りです。

＜DIRECT モード＞

ＵＳＢを挿入した場合、ＵＳＢメモリに対する直接録音、直接再生が可能になります。

ＤＩＲＥＣＴモードの場合、先に挿したメディアに対して、アクセスＬＥＤが点灯し、録音、再生が可能です。

＜COPY モード＞

ＣＦカードが挿入されていて、ＵＳＢメモリを挿入すると、ＣＦカードの内容をＵＳＢメモリに自動的にコピーします。

ＵＳＢメモリ内の既存ファイルは削除されず、ＣＦカードのリストにあがっている素材のみが、新規フォルダにコピーされます。新規フォルダ名は、年月日時刻をもとに自動生成します。

ＵＳＢメモリを挿入しても、直接録音、直接再生は行えません。

設定画面表示中にメディアの挿入はできません。リスト画面にて、再度、メディアを挿入してください。

出荷時の設定はＣＯＰＹモードです。

２－６．メディアの取り出し

ＣＦカードの場合、フタを開けると、ＬＥＤが消灯します。

アクセスＬＥＤの点滅中はデータ転送中であることを示しています。**データ転送中にメディアを取り出さないで下さい。メディアの内容が破壊される場合があります。**

再生中にフタを開けると警告のブザーが鳴ります。設定により、警告ブザーを鳴らないようにすることも可能です。

２－７．デジタル入力とレートコンバート機能

本装置では、レートコンバート機能を設定で有効にすると、サンプリング周波数の設定が４８ｋＨｚで、入力音声が４４．１ｋＨｚのデジタル音声の場合、４８ｋＨｚの音声データに変換して録音されます。

２－８．設置について

ラック等に収納する場合、上下１Ｕ以上開けて設置してください。また、筐体の空気口を塞がないでください。

２－９．パスワードについて

パスワードは出荷時、００００で設定されています。パスワードが００００の場合、設定時にパスワードを尋ねられることはありません。

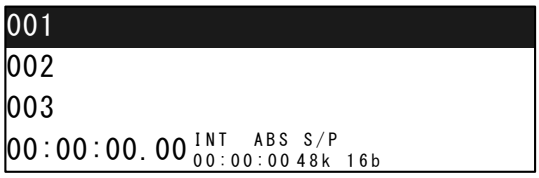
２－１０．メディアのフォーマットについて

本装置では、メディアのファイルフォーマットは容量が４ＧＢメディアまではＦＡＴ１６、それ以上の容量のメディアではＦＡＴ３２をを採用しています。ＰＣなど、他の装置でフォーマットを行うと、ＦＡＴ３２でフォーマットされる場合があります。**メディアフォーマットは、本製品を使用していただくか、２ＧＢまでのメディアはフォーマットをＦＡＴ１６、これを超えるメディアはＦＡＴ３２に指定してフォーマットして下さい。**

３．基本操作

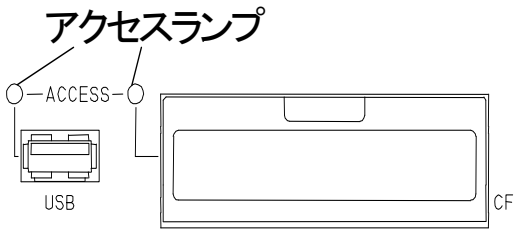
３－１．起動

電源を起動すると、リスト画面になります。



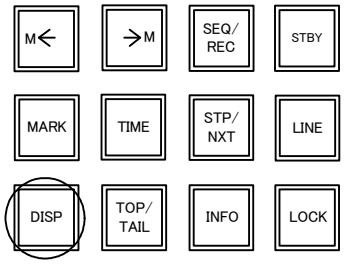
３－２．メディア挿入

挿入したメディア側のアクセスランプが点灯します。ＣＦカードの場合は、蓋を閉めた段階で点灯します。



３－３．リスト画面＆カウンタ画面切り替え

ＤＩＳＰボタンを押すとカウンタ画面とリスト画面が切り替わります。



・画面切り替えにより、再生動作などが止まることはありません。

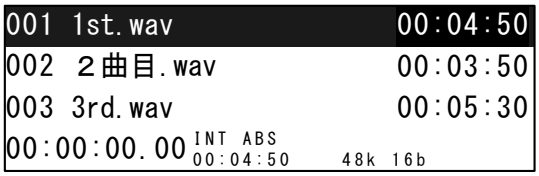
３－４．再生

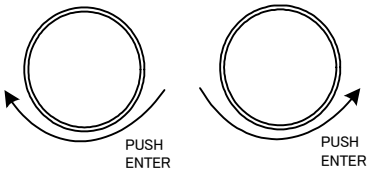
再生には、シングルモードとＳＴＯＰ／ＮＥＸＴモードがあります。モードの違いにより、スクロール動作が異なります。

シングルモードの切り換えは、ＳＴＯＰ／ＮＥＸＴボタンを切り替え操作することで切り替えます。電源起動時にどちらのモードにするかは、設定で指定します。

（シングルモード）

１．　素材の選択





・スクロールダイアルを右に回すとフォーカスが下に、左に回すとフォーカスが上に移動します。

２．　再生

・再生ボタンを押すと再生を開始します。再生中、カウンタ画面に切り替えることが可能です。

・メディアによっては、カウンタの進行がちらつく場合があります。

３．停止

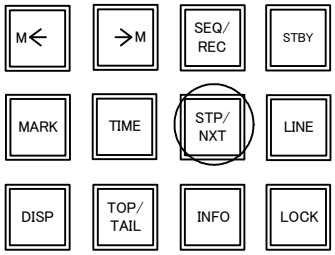
・停止ボタンを押すと再生を停止します。再生ボタンは消灯します。

・停止ボタンを押したときの位置で停止しているので、再度、再生ボタンを押すとこの時点で再生を開始します。

・シングルモードでの再生では、ポーズと停止は同じ動作となり、再度、再生ボタンを押すと、一時停止あるいは停止しているところから再生を開始します。

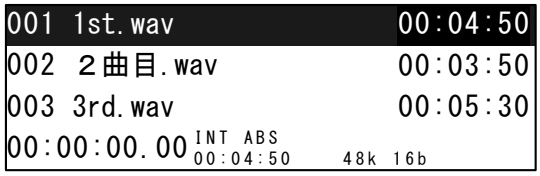
（ＳＴＯＰ／ＮＥＸＴモード）

１．　素材の選択



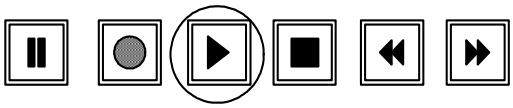
・リスト画面では、初期状態で、選択された素材は反転表示されます。
・ＳＴＰ／ＮＸＴボタンを押すと、ボタンが黄色点灯します。
・選択された素材はすぐにスタンバイ状態になり、ＳＴＢＹボタンは緑色に点灯します。

２．　素材の選択



・スクロールダイアルを右に回すと次の素材を選択し、左に回すと、前の素材を選択します。

３．　再生



・再生ボタンを押すと再生を開始します。
・再生ボタンは緑色に点灯します。
・再生中、カウンタ画面への切り替えが可能です。
・再生中に素材選択のスクロールは行えません。

４．　再生中の再生

・再生中に再生ボタンを押すと、次の素材が再生されます。
・PlayPriority 設定が先優先の場合、再生中の再生ボタン押下は無効です。後優先では次の素材を再生します。

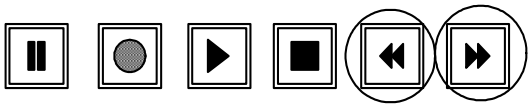
５．　停止

・停止ボタンを押すと再生を停止します。
・再生ボタンは消灯します。
・停止ボタンを押すと、次の素材でスタンバイします。
・シングルモードと異なり、ポーズと停止に操作の違いがあります。ポーズでは、押した時点でポーズします。

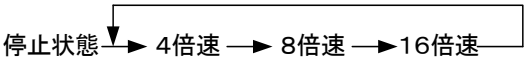
３－５．巻き戻し、早送り、キュー、レビュー

再生のシングルモードのみでの動作です。

１．　巻き戻し、早送り



・早送りボタンを押すと早送り、巻き戻しボタンを押すと、巻き戻し動作となります。
・押したほうのボタンは点灯します。
・早送りにおいて素材の最後尾に到達すると、自動的に停止します。
・巻き戻しにおいて素材の先頭に到達すると、自動的に停止します。
・巻き戻し中に早送りボタンを押すと早送りに、早送り中に巻き戻しボタンを押すと巻き戻しとなります。
・巻き戻し中に再度巻き戻しボタンを押したり、早送り中に再度早送りボタンを押すと速度があがります。



２．　画面切り替え

・巻き戻し、早送り中に、カウンタ画面－リスト画面の切り換えは可能です。

３．　キュー、レビュー

・再生中に、巻き戻しボタン、早送りボタンを押すと、キュー、レビュー動作となります。
・巻き戻し、早送り中に、再生ボタンを押すと再生状態、停止ボタンを押すと停止状態になります。
・巻き戻し、早送り中に、一時停止ボタンを押すと一時停止状態になります。再び一時停止ボタンを押すと再生状態になります。

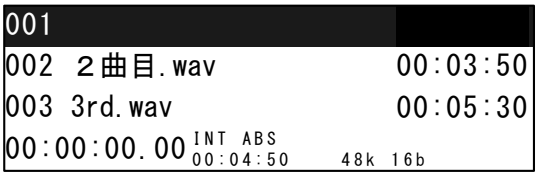
３－６．録音

再生においてシングルモードとＳＴＯＰ／ＮＥＸＴモードがあるように、録音では、シングルモードと連続録音モード（ＳＥＱ　ＲＥＣモード）があります。

シングルモードとＳＥＱ　ＲＥＣモードの切り換えは、ＳＥＱ／ＲＥＣボタンをトグル操作することで行ないます。ＳＴＯＰ／ＮＥＸＴモードと異なり、電源起動時にＳＥＱ　ＲＥＣモードとする設定はありません。

（シングルモード）

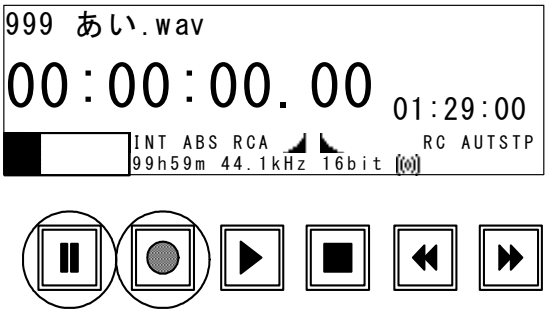
１．　空きリストの選択



・録音を行なうためには、ＳＴＯＰ／ＮＥＸＴモードをオフにしておく必要があります。
・空きリストを選択します。

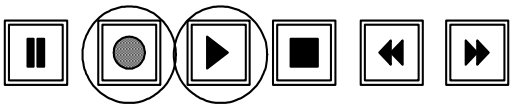
２．　録音開始

（キーバインド１）



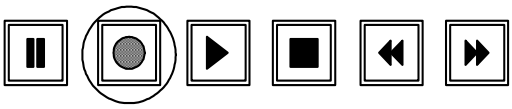
・録音ボタンを押すと、ＲＥＣ　ＲＥＡＤＹ状態になり、一時停止ボタンが点灯します。
・自動的にカウンタ画面になります。
・この段階で、ピークメーターが振れるとともに、ラインオンの状態では音声が出力されます。
・時間指定録音が有効な場合、リメインカウンタには相当時間が表示されます。無効な場合、リメインカウンタは表示されません。
・一時停止ボタンを押すか、再生ボタンを押すと、一時停止ボタンが消灯し、代わりに再生ボタンが点灯します。録音ボタンは、その前の時点で点灯しているので、変化しません。

（キーバインド２）



・ＲＥＣと再生ボタンの同時押しで録音を開始します。

（キーバインド３）



・録音ボタンだけで録音を開始します。

３．　録音

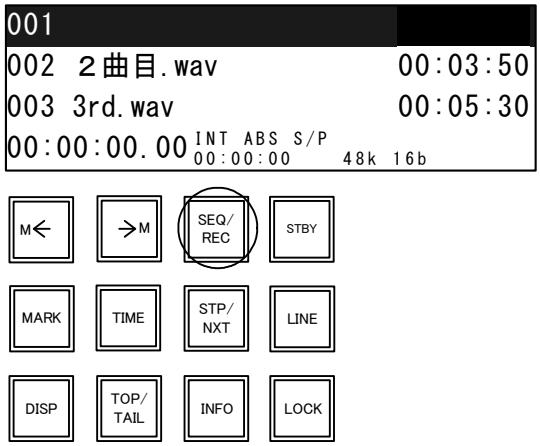
・ＲＥＣと再生ボタンが点灯します。
・メディアによっては、カウンタの進行がちらつく場合があります。音質への影響はありません。

４．　録音停止

・停止ボタンを押すと、録音ボタンと再生ボタンが消灯し、録音を停止します。

（ＳＥＱ　ＲＥＣ　モード）

１．　　ＳＥＱ　ＲＥＣ動作の開始



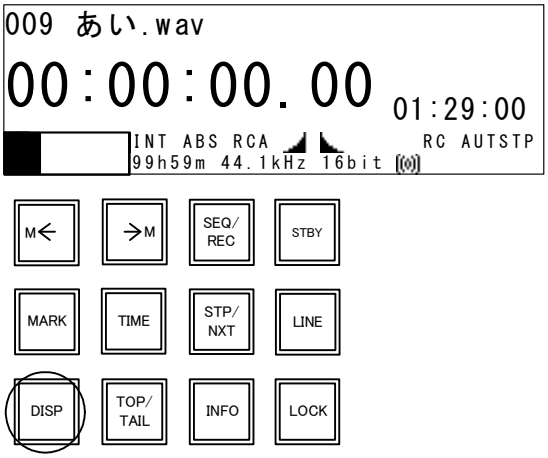
・ＳＥＱ／ＲＥＣボタンを押すと、ＳＥＱ　ＲＥＣモードとなります。この時、ＳＥＱ／ＲＥＣボタンが点灯し、ＳＥＱ　ＲＥＣモードであることを示します。

・素材の存在箇所が選択されている場合、下方向で最も近い空きリストが自動的に選択されます。

・録音した箇所の次のリストに素材がある場合、次の空きリストに跳んで録音を行ないます。

・ＳＥＱ　ＲＥＣモードの場合、自動的にカウンタ画面には切り替わりません。

２．画面切り替え



・ＤＩＳＰボタンを押すことで、カウンタ画面とリスト画面を切替えることができます。

３．　　ＳＥＱ　ＲＥＣモードの解除

・ＳＥＱ　ＲＥＣモード中にＳＥＱ／ＲＥＣボタンを押すと、ＳＥＱ／ＲＥＣボタンが消灯し、ＳＥＱ　ＲＥＣモードが解除されます。

４．　ＳＥＱ　ＲＥＣモードの種類

ＳＥＱ　ＲＥＣモードには下表に示す３種類が存在します。設定で選択します。

＜ＳＥＱ　ＲＥＣモードの種類＞

モード	操作
1	録音停止後、空きリストにフォーカスが移動してＲＥＡＤＹ状態になります。ＰＬＡＹキーで録音を開始します。
2	録音停止後、空きリストにフォーカスを移動してＳＴＯＰ状態になります。録音ボタンと再生ボタンの同時押しで録音を開始します。
3	ＳＥＱ／ＲＥＣボタンを押した瞬間に録音を開始します。停止ボタンで録音停止後、空きリストから自動で録音を開始します。ＳＥＱ／ＲＥＣボタンを再度押してＳＥＱＲＥＣモードを解除しない限り、連続録音動作は停止しません。有音、無音検知と併用すると便利です。

３－７．有音検知、無音検知録音

有音検知録音、無音検知録音の有効、無効設定とパラメータの設定は、設定画面で行ないます。

（有音検知）

有音検知は、指定した検知レベルを超えた場合に録音を開始します。有音検知のパラメータには２種類あります。

・検知レベル：検知するレベルを指定します。基準レベルに対して設定します。－６０～０ｄＢまで指定できます。

・有音検知マージン：録音検知から遡って保存する場合に使用します。最大２秒分、遡って録音することができます。０．１秒ステップで指定できます。

（無音検知）

無音検知のパラメータには３種類あります。無音検知は、指定した無音反応時間の間、検知レベルよりも下がった場合に録音が停止します。

・検知レベル：検知するレベルを指定します。基準レベルに対して設定します。－６０～０ｄＢまで指定できます。

・無音検知マージン：無音検知後、停止までの時間を指定します。

・無音検知反応時間：０から１０秒まで０．１秒ステップで指定できます。

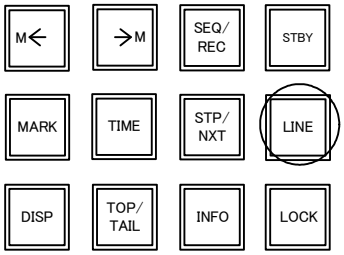
３－８．時間指定録音

録音時間を指定して録音することができます。録音時間の指定は設定画面で行ないます。

３－９．トラックアップ録音

録音中に録音ボタンを押すと、録音を継続したまま次のＩＮＤＥＸに録音を行ないます。

３－１０．ラインオン、ラインオフ



・ＬＩＮＥボタンの長押しで、オン、オフが切り替えられます。

・電源起動時のラインオン、オフは設定で指定できます。

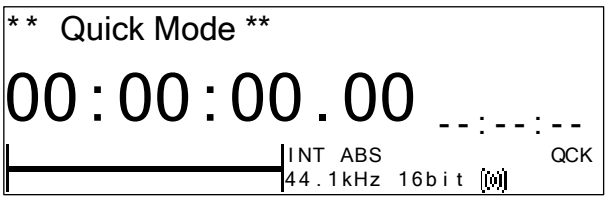
・ラインのオン／オフは、再生中／停止中に関わらず動作します。キュー、レビュー中も動作します。

３－１１．クイックモード

クイックモードを指定すると、ＩＮＤＥＸの４０番までの素材を先読みスタンバイしますので、再生開始遅延を最小に抑えることができます。

１．　クイックモードの開始

・ＭＥＮＵ／ＥＳＣボタンを押し、３１１　ＱｕｉｃｋＭｏｄｅを選択すると、 クイックモード画面になります。



２．　再生

・３ビットビットアドレスモードや２ビットアドレスモードにて、ＩＮＤＥＸを指定した再生外部制御により再生が開始します。

３．　終了

・ＭＥＮＵ／ＥＳＣボタンを押すと、クイックモードを解除するかどうかダイアログが表示されます。

４．その他の操作

録音再生などの基本操作以外の機能は、ＭＥＮＵ／ＥＳＣボタンを押すことで行ないます。

次の種類の項目が表示されます。

１．LIST EDIT
リスト編集画面

２．QUICK　MODE
クイックモード（３－１０．参照）

３．ANALOG INPUT LEVEL
アナログ入力レベル調整

４．ANALOG INPUT BALANCE
アナログ入力バランス調整

５．SOUND DETECT
有音検知オン、オフ

６．SILENCE DETECT
無音検知オン、オフ

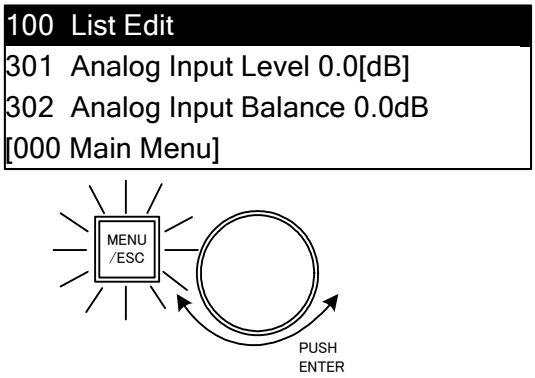
７．AUTO REC STOP
時間指定録音オン、オフ

８．SETUP
各種設定

９．MEDIA MAINTENANCE
フォーマットなどのメディアに対する操作

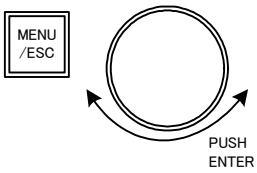
（メニュー画面の基本操作）

１．　項目の選択



・ＭＥＮＵ／ＥＳＣボタンを押すと、ＭＥＮＵ画面が表示されます。
・ＭＥＮＵ／ＥＳＣボタンが点灯し、以降、トランスポートキーの動作は無効となります。
・スクロールダイアルで上下移動させ、項目を選択して、スクロールダイアルを押します。

２．　リスト画面またはカウンタ画面に戻る



・ＭＥＮＵ／ＥＳＣボタンを押します。
・リスト画面またはカウンタ画面に戻り、基本操作が可能になります。
・ＭＥＮＵ／ＥＳＣボタンが消灯します。

４－１．リスト編集

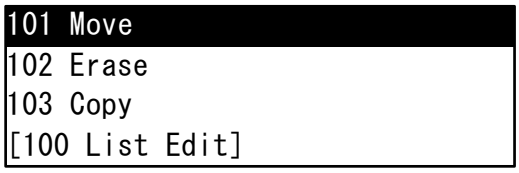
ＭＥＮＵ画面より、スクロールダイアルでＬＩＳＴＥＤＩＴを選択し、スクロールダイアルを押すと、次の機能が選択できます。

- **MOVE：素材移動**
- **ERASE：素材消去**
- **COPY：素材コピー**
- **IMPORT：リストへの素材追加（メディアをまたぐ場合は、コピー動作を含む）**
- **IMPORT ALL：全素材のリストへの追加**
- **EXPORT：素材のはき出し（素材の他フォルダへのコピー）**
- **EXPORT ALL：全素材のはき出し**
- **RENUMBER：素材の整理**
- **CREATE：素材リスト再構築**
- **MARK　CLEAR：マークの消去**

ＭＥＮＵ／ＥＳＣボタンを押すと、ＭＥＮＵ画面に戻ります。

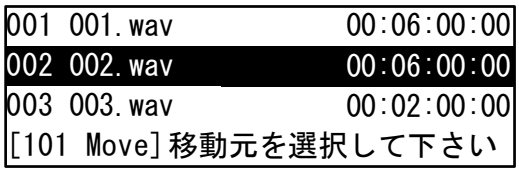
４－１－１．リスト編集（素材移動）

1．　素材移動選択



・リスト編集画面が表示されます。
・スクロールダイアルで上下移動させ、ＭＯＶＥを選択して、ＥＮＴＥＲを押します。

2．　ＭＯＶＥ元画面表示



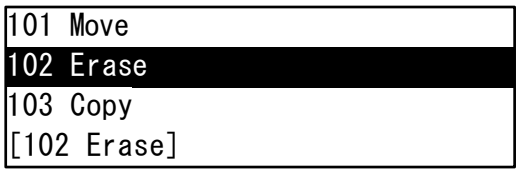
・ＭＯＶＥ画面が表示されます。
・スクロールダイアルで上下移動させ、移動元を選択して、ＥＮＴＥＲを押します。

3．　ＭＯＶＥ先画面表示
・移動先を選択します。
・移動先に素材がある場合、以降の素材がずれます。

4．　移動画面に戻る
・ＭＥＮＵ／ＥＳＣボタンを押すと、一つ上の階層であるリスト編集画面に戻ります。

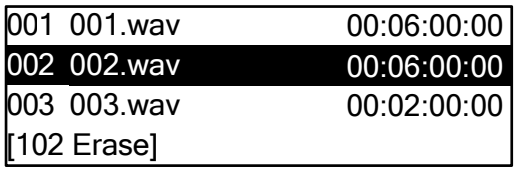
４－１－２．リスト編集（素材消去）

１．　素材消去選択



・スクロールダイアルで上下移動させ、ＥＲＡＳＥを選択して、ＥＮＴＥＲを押します。

２．　ＥＲＡＳＥ画面表示



・ＥＲＡＳＥ画面が表示されます。
・スクロールダイアルで上下移動させ、ＥＮＴＥＲを押すとリストから消去されます。

３．　素材消去

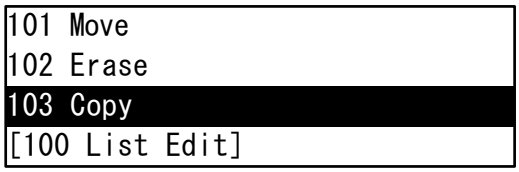
・素材がリストから消去されます。
・リストから消去されるのみで、実体は削除されません。

４．　リスト編集画面に戻る

・ＭＥＮＵ／ＥＳＣボタンを押すと、一つ上の階層であるリスト編集画面に戻ります。

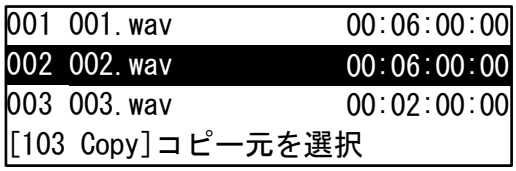
４－１－３．リスト編集（素材複写）

１．　素材複写選択



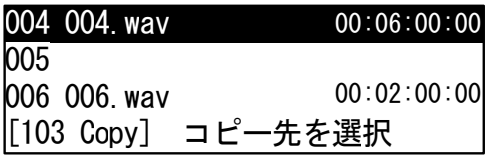
・スクロールダイアルで上下移動させ、ＣＯＰＹを選択して、ＥＮＴＥＲを押します。

２．　コピー元画面表示



・素材選択画面が表示されます。
・スクロールダイアルで上下移動させ、コピー元を選択して、ＥＮＴＥＲを押します。

３．　コピー先画面表示（コピー先が空白の場合）



・コピー先を選択します。

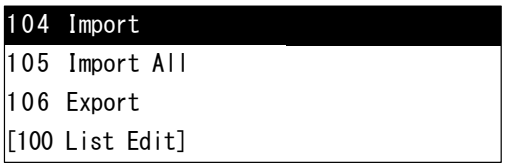
４．　コピー先画面表示
・コピー先に素材がある場合、以降の素材がずれます。
・確認画面が表示されます。

５．　コピー画面に戻る
・ＭＥＮＵ／ＥＳＣボタンを押すと、コピー元画面に戻ります。
・フォーカスは、先ほどのコピー先を示しています。

６．　リスト編集画面に戻る
・ＭＥＮＵ／ＥＳＣボタンを押すと、一つ上の階層であるリスト編集画面に戻ります。

４－１－４．リスト編集（Import）

１．　インポート選択

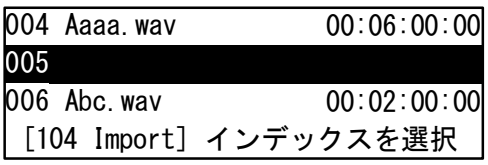


・スクロールダイアルで上下移動させ、ＩＭＰＯＲＴを選択して、ＥＮＴＥＲを押します。

２．　インポート元選択

・インポート元のメディアを選択後、インポートしたい素材を選択します。

３．　インポート先選択



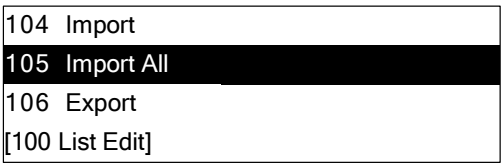
・リスト画面が表示されます。
・スクロールダイアルで上下移動させ、空きリストを選択して、ＥＮＴＥＲを押します。

４．　インポートの完了
・インポートされた後、次のインポート先が選択できます。
・キャンセルを行なわない限り、上記の手続きの繰り返しとなります。

５．　インポート画面から抜けて、リスト編集画面に戻る
・ＭＥＮＵ／ＥＳＣボタンを押すと、一つ上の階層であるリスト編集画面に戻ります。

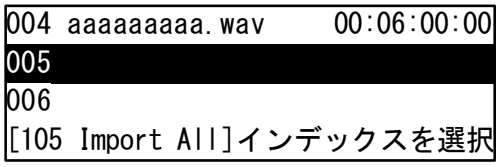
４－１－５．リスト編集（Import All）

１．　インポートオール選択



・スクロールダイアルで上下移動させ、ＩＭＰＯＲＴ　ＡＬＬを選択して、ＥＮＴＥＲを押します。

２．　インポート先選択

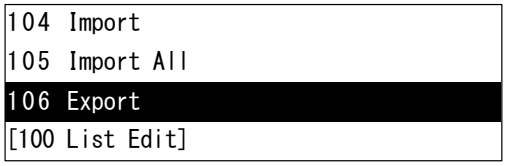


・空リストを選択して実行すると、全てのファイルがフォルダ毎の文字コード順に表示されます。

３．　インポート画面から抜ける
・完了すると、リスト画面に戻ります。

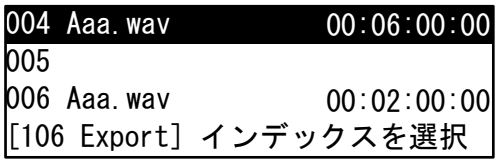
４－１－６．リスト編集（Export）

１．　エクスポート選択



・スクロールダイアルで上下移動させ、ＥＸＰＯＲＴを選択して、ＥＮＴＥＲを押します。

２．　エクスポート素材選択



・ＥＸＰＯＲＴ画面が表示されます。
・スクロールダイアルで上下移動させ、ＥＸＰＯＲＴしたい素材を選択します。

３．　エクスポート先を選択

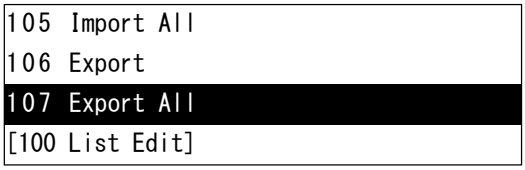
・エクスポート先のメディアを選択します。

４．　エクスポートの完了
・メディアの直下にエクスポートされた後、先ほどの画面に戻ります。
・キャンセルを行なわない限り、上記の手続きの繰り返しとなります。

５．　エクスポート画面から抜ける
・ＭＥＮＵ／ＥＳＣボタンを押すと、一つ上の階層であるリスト編集画面に戻ります。

４－１－７．リスト編集（Export All）

１．　エクスポートオール選択



・スクロールダイアルで上下移動させ、ＥＸＰＯＲＴ　ＡＬＬを選択して、ＥＮＴＥＲを押します。

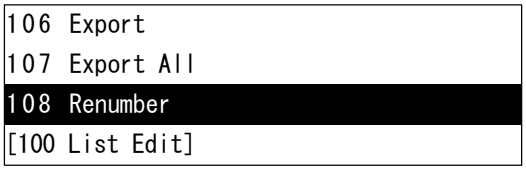
２．　メディア確認選択

・メディアを選択します。

３．　リスト画面に戻る
・ＭＥＮＵ／ＥＳＣボタンを押すと、一つ上の階層であるリスト編集画面に戻ります。

４－１－８．リスト編集（Renumber）

１．　リナンバー選択



・スクロールダイアルで上下移動させ、ＲＥＮＵＭＢＥＲを選択して、ＥＮＴＥＲを押します。

２．　番号振り直し

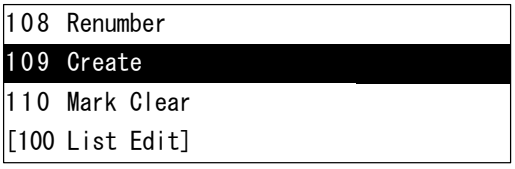
・空きのインデックスを詰めて、番号が振りなおされます。

３．　リスト画面に戻る

・完了すると、リスト画面に戻ります。

４－１－９．リスト編集（Create）

１．　クリエイト選択



・リスト編集画面が表示されます。

・スクロールダイアルで上下移動させ、ＣＲＥＡＴＥを選択して、ＥＮＴＥＲを押します。

２．　素材リスト更新

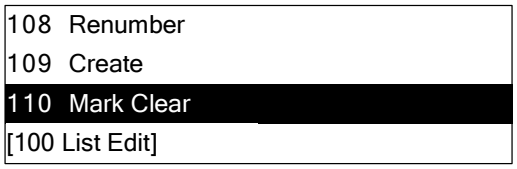
・これまでの素材リストを再構築します。

３．　リスト画面に戻る

・完了すると、リスト画面に戻ります。

４－１－１０．リスト編集（Mark Clear）

１．　マーククリア選択



・リスト編集画面が表示されます。

・スクロールダイアルで上下移動させ、ＭＡＲＫＣＬＥＡＲを選択して、ＥＮＴＥＲを押します。

２．　素材選択

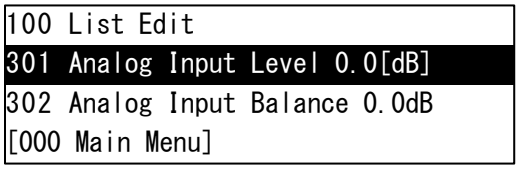
・マークを消去する素材を選択し、消去します。

３．　リスト画面に戻る

・ＭＥＮＵ／ＥＳＣボタンを押すと、一つ上の階層であるリスト編集画面に戻ります。

４－２．入力レベル設定(Analog Input Level)

１．　アナログ入力画面表示



・スクロールダイアルで上下移動させ、Ａｎａｌｏｇ　Ｉｎｐｕｔ　Ｌｅｖｅｌを選択して、ＥＮＴＥＲを押します。

・右側の数値は、現在の設定値です。

２．　パラメータの変更

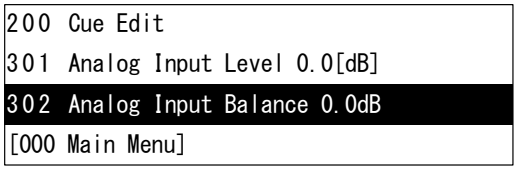
・スクロールダイアルでパラメータを変更します。

３．　ＭＥＮＵ画面に戻る

・ＥＮＴＥＲボタンを押すと、一つ上の階層であるＭＥＮＵ画面に戻ります。

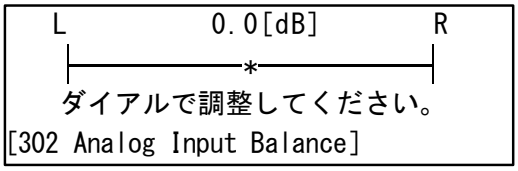
４－３．入力バランス設定(Analog Input Balance)

１．　アナログ入力バランス画面表示



・スクロールダイアルで上下移動させ、Ａｎａｌｏｇ　Ｉｎｐｕｔ　Ｂａｌａｎｃｅを選択して、ＥＮＴＥＲを押します。
・右側の数値は現在の設定値です。

２．　パラメータの変更

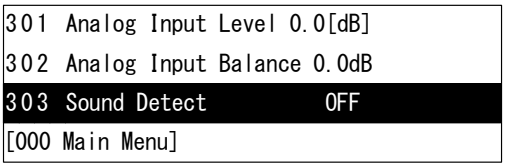


・スクロールダイアルで変更します。

３．　ＭＥＮＵ画面に戻る
・ＥＮＴＥＲを押すと、一つ上の階層であるＭＥＮＵ画面に戻ります。

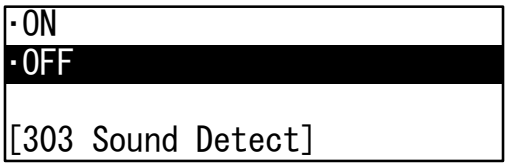
４－４．有音検知(Sound Detect)

１．　有音検知画面表示



・スクロールダイアルで上下移動させ、Ｓｏｕｎｄ　Ｄｅｔｅｃｔを選択して、ＥＮＴＥＲを押します。
・右側の現在の設定を表示しています。

２．　変更

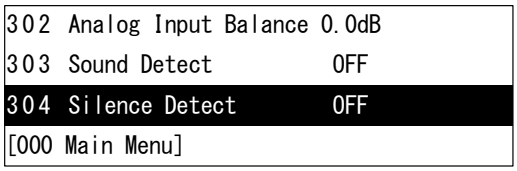


・スクロールダイアルで変更します。

３．　ＭＥＮＵ画面に戻る
・ＥＮＴＥＲボタンを押すと、一つ上の階層であるＭＥＮＵ画面に戻ります。

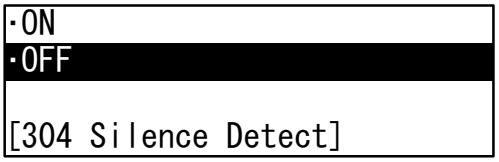
４－５．無音検知(Silence Detect)

１．　無音検知表示



・スクロールダイアルで上下移動させ、Ｓｉｌｅｎｃｅ Ｄｅｔｅｃｔを選択して、ＥＮＴＥＲを押します。

２．　変更



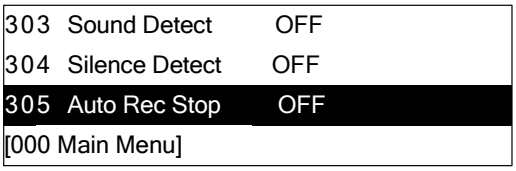
・スクロールダイアルで変更します。

３．　ＭＥＮＵ画面に戻る

・ＥＮＴＥＲボタンを押すと、一つ上の階層であるＭＥＮＵ画面に戻ります。

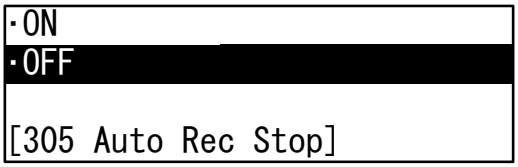
４－６．時間指定録音(Auto Rec Stop)

１．　時間指定録音画面表示



・スクロールダイアルで上下移動させ、Ａｕｔｏ Ｒｅｃ Ｓｔｏｐを選択して、ＥＮＴＥＲを押します。

２．　変更



・スクロールダイアルで変更します。

３．　ＭＥＮＵ画面に戻る

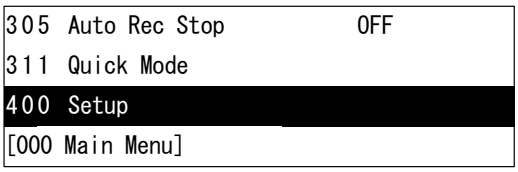
・ＥＮＴＥＲボタンを押すと、一つ上の階層であるＭＥＮＵ画面に戻ります。

４－７．設定(Setup)

設定は、本体のパネル操作またはネットワーク経由による設定で行います。

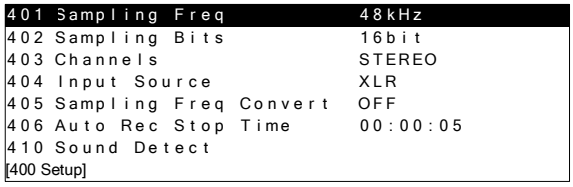
＜パネルによる設定＞

１．　Ｓｅｔ　Ｕｐ画面表示



・スクロールダイアルで上下移動させ、Ｓｅｔ　Ｕｐを選択して、ＥＮＴＥＲを押します。

２．　パラメータの変更

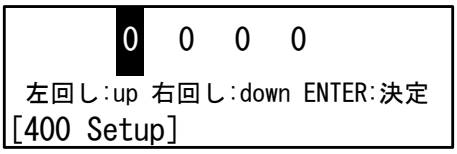


・設定項目はスクロールダイアルで変更します。

３．　確認画面の表示

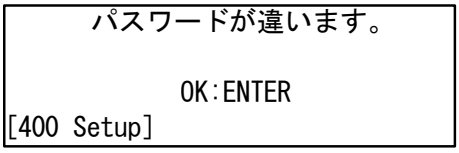
・ＥＮＴＥＲボタンを押すと、パスワード画面が表示されます。

４．　パスワード画面の表示



・スクロールボタンで数字を選択します。ＥＮＴＥＲで次の数字のフィールドに移ります。

５．　パスワード不一致の場合



・パスワードの不一致の警告が表示されます。ＥＮＴＥＲを押します。

６．　パスワード再要求

・再度パスワードが要求されます。

７．　設定保存

・ＥＮＴＥＲで保存し、ＥＳＣで、ＭＥＮＵ画面に戻ります。

＜ネットワーク経由による設定＞

ブラウザ*)から例えばhttp://192.168.1.2のようにＵＲＬを指定します。ここで、192.168.1.2はＩＰアドレスの例です。実際のＩＰアドレスはパネル操作のＳＥＴＵＰ画面にて、予めご確認ください。

設定画面が表示されますので、変更後、“WRITE SETTINGS”ボタンをクリックしてください。

“RESET”ボタンをクリックすると、設定変更前の状態に戻ります。

＊）Internet　Explorer6 または Firefox2 で動作確認済みです。

４－７－１．サンプリング周波数設定 (Sampling Freq)

以下の組合せから、選択します。Ｓ／ＰＤＩＦを同期源とすることはできません。同期源を変更する場合、背面のケーブルを差し替えた後、本体の電源を入れなおしてください。

32kHz：　３２ｋＨｚ
44.1kHz：　４４．１ｋＨｚ
48kHz：　４８ｋＨｚ

４－７－２．量子化ビット数設定 (Sampling Bits)

録音時のビット数を示します。１６ビット固定です。

16：１６ビット録音

４－７－３．チャネル数設定(Channels)

録音時のチャネルフォーマットを選択します。

MONO：モノラル録音
STEREO：ステレオ録音

４－７－４．入力源選択(Input Source)

入力音声源を選択します。

RCA：アナログＲＣＡコネクタ入力
S/PDIF：デジタルＳ／ＰＤＩＦ入力

４－７－５．サンプリングレートコンバーター設定 (Sampling Freq Convert)

サンプリングレートコンバートのオン、オフ設定を行います。デジタル入力信号を設定サンプリング周波数に変換しながら録音できます。例えばＡＥＳ４４．１ｋＨｚの信号の信号に対して、設定周波数がＩＮＴ４８ｋＨｚの場合、内部同期４８ｋＨｚサンプリングのフォーマットで録音できます。

入力信号がＳ／ＰＤＩＦでレートコンバートをオフにする場合、サンプリング周波数と同期源設定はＩＮＴ４８ｋＨｚ、ＩＮＴ３２ｋＨｚ、ＩＮＴ４４．１ｋＨｚの中から、入力信号の周波数と同じ値を選択してください。他の設定では、正常に録音できません。

ON：サンプリングレートコンバートオン
OFF：サンプリングレートコンバートオフ

４－７－６．時間指定録音設定(Auto Rec Stop Time)

時間指定録音での録音指定時間を入力します。時間指定録音のオン、オフはＭＥＮＵ画面の下の［３０５］ＡＵＴＯ　ＲＥＣ　ＳＴＯＰで行ないます。

最大値は、２３：５９：５９です。但し、録音中にメディアの空き容量が無くなった場合やファイルサイズ上限（２ＧＢ）に達した場合には、指定時間に達する前に録音を停止します。

設定単位は１秒です。

４－７－７．有音検知パラメータ設定(Sound Detect)

有音検知の検知条件を設定します。有音検知のパラメータには２種類あります。

・検知レベル：検知するレベルを指定します。基準レベルに対して設定します。－６０～０ｄＢまで指定できます。

・音検知マージン：録音検知から遡って保存する場合に使用します。最大２秒分、遡って録音することができます。０．１秒ステップで指定できます。

４－７－８．無音検知パラメータ設定(Silence Detect)

有音検知の検知条件を設定します。

無音検知のパラメータには３種類あります。無音検知は、指定した無音反応時間の間、検知レベルよりも下がった場合に録音が停止します。

１．レベル：検知するレベルを指定します。基準レベルに対して設定します。－６０～０ｄＢまで指定できます。

２．検知マージン：無音検知後、停止までの時間を指定します。設定は、最大１０秒で、０．１秒単位です。

３．音検知反応時間：０から１０秒まで０．１秒ステップで指定できます。

４－７－９．録音操作設定(Rec Operation Mode)

録音キーバインドとＳＥＱ　ＲＥＣモードを設定します。

（録音キーバインドの選択）

次の３種類があります。

モード	操 作
１	・録音開始　[REC] キーを単独で押すと READY 状態になります。 READY 状態で [PLAY] キーを押すと録音を開始します。 ・録音停止　[STOP] キーで停止します。
２	・録音開始　[REC] + [PLAY] キーを同時に押すと録音を開始します。 ・録音停止　[STOP] キーで停止します。
３	・録音開始　[REC] キーを押すと録音を開始します。 ・録音停止　[STOP] キーで停止します。

（ＳＥＱ　ＲＥＣモードの選択）

次の３種類があります。

モード	操 作
１	録音停止後、空きリストにカーソルが移動して READY 状態になります。PLAY キーで録音を開始します。
２	録音停止後、空きリストにカーソルが移動して STOP 状態になります。REC＋PLAY キーで録音を開始します。
３	SEQ REC モードにすると録音を開始します。STOP キーで録音停止後、空きリストから自動で録音を開始します。 有音検知、無音検知との併用で使用します。

４－７－１０．再生優先モード設定(Play Priority)

ＳＴＯＰ／ＮＥＸＴモードにおいて、再生中に再生操作を行った場合の動作を指定します。

モード１：先優先。再生中に再生操作を行っても無視されます。

モード２：後優先。現在の再生を中止して、次の素材の再生を開始します。

４－７－１１．LR Mix モード設定(LR Mix)

ＬｅｆｔとＲｉｇｈｔの音声を加算して出力します。

On：Ｌ＋Ｒ出力です。

Off：通常のステレオです。

４－７－１２．繰り返し再生設定(Repeat Play)

素材のリピート再生設定です。

On：リピート再生有効になります。

Off：リピート再生無効になります。

４－７－１３．STOP/NEXT リピートモード設定 (Repeat StpNxt)

ストップネクストモードでのリピート再生設定です。これをオンにすると、リストの最後に来ると、リストの先頭に戻り、ＳＴＯＰ／ＮＥＸＴモードでの再生がエンドレスに行えます。

On：リピート有効になります。

Off：リピート無効になります。

４－７－１４．STOP/NEXT 設定(Auto StpNxt)

メディア挿入後すぐに、ＳＴＯＰ／ＮＥＸＴモードになる機能です。

On：自動でＳＴＯＰ／ＮＥＸＴモードになります。

Off：通常の動作です。

４－７－１５．時間表示設定(Disp Time)

リスト画面、カウンタ画面で、ＬＡＰ時間表示を大きな表示とするか、ＲＥＭＡＩＮ時間表示を大きくするかの設定です。

LAP：LAP 時間を大きく表示します。

REM：REMAIN 時間を大きく表示します。

４－７－１６．ピークマージン設定(Peak Margin)

ピークマージンを選択します。

－18：ピークマージン１８ｄＢ

－20：ピークマージン２０ｄＢ

４－７－１７．S/PDIF コピープロテクト設定 (SPDIF Copy Protect)

Ｓ／ＰＤＩＦ出力のコピープロテクトのＯＮ、ＯＦＦを設定します。

ON：コピープロテクトありで出力

OFF：コピープロテクトなしで出力

４－７－１８．スタンバイ設定 (STBY Standby Position)

スタンバイ再生、SINGLE モードで、STBY ボタンを押す場合のスタンバイ動作を選択します。

ＳＴＯＰ／ＮＥＸＴモードでは、FREE 設定は無視されます。

TOP：　先頭にスタンバイします。

FREE：現在の位置でスタンバイします。

４－７－１９．外部制御設定 (External Input, External Output)

入力については、３ビットアドレスモード、２ビットアドレスモード、トランスポートキーモードから選択します。入力のトランスポートキーモードと出力については Input1 から Input4、Output1 から Output5 の各々に各機能を割り付けられ、外部制御入出力インターフェースの項（２．４．参照）に記述した機能が選択できます。

４－７－２０．表示輝度調整(Display Brightness)

フロントパネルの輝度を調整します。設定範囲は１から８までです。

出荷時設定：４

４－７－２１．起動時ラインオン設定 (Initial Line Status)

電源起動時にラインオンか、ラインオフかを設定します。

On：　電源起動時、ラインオンとする。

Off：　電源起動時、ラインオフとする。

４－７－２２．起動時ロック設定 (Initial lock Status)

電源起動時に操作パネルのＬＯＣＫボタンを有効にするか、無効にするかを設定します。On の場合、起動後にＬＯＣＫボタンを押さない限り、フロントパネルからの操作は行えません。

On：　電源起動時、ＬＯＣＫボタンをオンとする。

Off：　電源起動時、ＬＯＣＫボタンをオフとする。

４－７－２３．ラインボタン設定(Line Key)

フロントパネルのＬＩＮＥボタンを有効にするか、無効にするかを選択します。

Enable：ＬＩＮＥボタンを有効とする。

Disable：ＬＩＮＥボタンを無効とする。

４－７－２４．パスワード設定(Pass Word)

ＰａｓｓＷｏｒｄの変更に使用します。出荷時のパスワードは００００です。**パスワードが００００の場合のみ、設定時にパスワードは尋ねてきません。**

１．旧Ｐａｓｓ　Ｗｏｒｄ入力

・現在のパスワード（旧ＰａｓｓＷｏｒｄ）を入力します。スクロールダイアルを回して、数値を選択し、ダイアルを押すと確定します。ＭＥＮＵ／ＥＳＣボタンを押すと、１つ前の桁の再入力ができます。

２．新パスワード入力

・現在のパスワードを入力します。ＭＥＮＵ／ＥＳＣボタンを押すと、１つ前の桁の再入力ができます。

３．新パスワード入力（確認用）

・現在のパスワードを入力します。ＭＥＮＵ／ＥＳＣボタンを押すと、１つ前の桁の再入力ができます。

４．パスワードの確定

・確認用パスワードが入力されると、自動的にパスワード画面から抜けます。パスワードはＭＥＮＵ画面から抜けたときに更新されます。

・**ＰＡＳＳ　ＷＯＲＤの項目から抜けただけでは、更新内容は保存されません。**

・**設定画面から抜け出して、設定内容を更新するには、変更後のパスワードを入力する必要があります。**

４－７－２５．日付設定(Date)

装置内部カレンダーの日付を設定します。

４－７－２６．時刻設定(Time)

装置内部時計の時刻を設定します。

４－７－２７．ＵＳＢモード選択(USB Mode)

ＵＳＢメモリへの直接書き込み録音、直接読み出しによる再生を可能にするかを設定します。

ＵＳＢメモリでのダイレクトアクセスの禁止ができます。

DIRECT：ＵＳＢメモリに直接録音、再生を許可します。

COPY：　ＵＳＢメモリをコピー媒体としてのみ使用します。ＣＦカードが挿入された状態で、ＵＳＢメモリを挿入すると、自動的にＣＦカードからＵＳＢメモリへのコピーが可能です。この場合、ＵＳＢメモリ内の既存ファイルは削除されず、ＣＦカードのリストにあがっている素材のみが、新規フォルダにコピーされます。新規フォルダ名は、年月日時刻をもとに自動生成します。

ＣＦカードの使用では、再生中にフタを開けるとブザー音による警告など、より安定運用が可能です。

４－７－２８．ＩＰアドレス設定(IP Address)

ＩＰアドレスを設定します。設定を変更した場合、電源の再起動を行ってください。

４－７－２９．サブネットマスク設定(Subnet Mask)

サブネットマスクを設定します。電源の再起動を行ってください。

４－７－３０．ＭＡＣアドレス表示(MAC Address)

ＭＡＣアドレスを表示します。書き換えはできません。

４－７－３１．シリアル番号表示(Serial No.)

シリアルNo.を表示します。

４－７－３２．バージョン表示(Version)

バージョンを表示します。

４－７－３３．バージョンアップ(Version Up)

バージョンアップを行います。ＵＳＢメモリまたはＣＦカードで行います。

４－７－３４．シリアルポート設定(Serial Port)

プロトコルのＡモード、Ｂモード、ＲＵ１０モードの切替えとボーレートの設定を行います。ＲＵ１０モードは専用リモコンＲＵ１０との通信に使用するプロトコル、Ａモード、Ｂモードは、ＰＣなどの汎用通信に使用します。Ａモード、Ｂモードのプロトコルの詳細については、製品仕様書をご覧ください。

ＲＵ１０モードのプロトコルを他の装置との通信に使用することはできません。また、ＲＵ１０モードの場合、ボーレートの変更は行えません。

４－８－３５．PAUSE 解除方法選択 (Serial Port)

ＰＡＵＳＥ解除方法を選択できます。

Resume Rec/Play : 一時停止中に PAUSE ボタンを押すと、一時停止が解除されます。
一時停止解除は、PAUSE ボタンまたは PLAY ボタンのみで行えます。

No Effect:一時停止中に PAUSE ボタンを押しても動作は変化しません。
一時停止解除は、PLAY ボタンのみで行えます。ＬＩＮＥボタンを無効とする。

４－８－３６．カウンタ画面でのスクロールボタン機能選択 (Dial on Counter-Screent)

カウンタ画面でのスクロールボタンの機能を選択します。

Playback Control：スクロールダイアルにて、スクロール操作、ＪＯＧ操作、シャトル操作、ナッジ操作が行えます。

Move Index：スクロールダイアルボタンにより、素材のスキップ、バックッスキップを行います。この設定では、ＪＯＧ操作などは行えません

４－８－３７．警告ブザーのオンオフ設定カ (CF Cover Buzzer)

ＣＦカードでの録音、再生中にフタを開けた場合に、警告音を出力するかの選択を行います。

Enable：ブザー出力する
Disable：ブザー出力しない

４－８－３８．再生中のスクロールダイアル機能設定 (Dial-Scroll on Play)

再生中のスクロールダイアル操作の有効/無効を選択します。。

Skip/Back Skip：スクロールダイアル操作により、再生中の動作を停止して、素材を選択することが選択できます。これを選択すると、再生中に停止を押さなくてもスキップ/スキップバックスキップが行えます

No Effect：再生中にスクロールダイアル操作を行っても、動作に影響しません

４－８－３９．Stp/Nxt 中のマークジャンプ設定 (Markjump on StopNext)

Stp/Nxt 中にマークジャンプの有効/無効を選択します。”enable”を選択すると、”disable”を選択すると、Stp/Nxt 中には、マークジャンプしません。

。

これにより、再生中に停止を押さなくてもスキップ/スキップバックスキップが可能になりました。ＣＦカードでの録音、再生中にフタを開けた場合に、警告音を出力するかの選択を行います。

Enable：Stp/Nxt での再生中にマークジャンプが可能となります。

Disable：Stp/Nxt での再生中、マークジャンプは行えません。

４－７－４０．設定一覧

設定の一覧を示します。出荷時の設定値を（）で示しています。

＜設定一覧＞

番号	設定項目	設定値
401	サンプリング周波数設定 (Sampling Freq)	32kHz 44.1kHz **(48kHz)** 96kHz
402	量子化ビット数設定 (Sampling Bits)	**(16bit)** 24bit
403	チャネル数設定 (Channels)	MONO **(STEREO)**
404	入力源選択(Input Source)	**(RCA)** S/PDIF
405	サンプリングレートコンバーター設定 (Sampling Freq Convert)	**(ON)** OFF
406	時間指定録音設定 (Auto Rec Stop Time)	00:00:00
410	有音検知パラメータ設定 (Sound Detect)	-20(dB) 1.0(sec)
420	無音検知パラメータ設定 (Silence Detect)	-40(dB) 1.0(sec) 1.0(sec)
431	録音操作キーバインド設定 (Keybind)	**(モード１)** モード２ モード３
432	SEQ REC 設定 (Sequential Rec)	**(モード１)** モード２ モード３
441	再生優先モード設定 (Play Priority)	モード１ **(モード２)**
442	LR Mix モード設定(LR Mix)	On **(Off)**
444	繰り返し再生設定 (Repeat Play)	On **(Off)**
445	STOP/NEXT リピートモード設定 (Repeat StpNxt)	On **(Off)**
446	STOP/NEXT 設定 (Auto StpNxt)	On **(Off)**
447	時間表示設定 (Disp Time)	**(LAP)** REM
450	ピークマージン設定 (Peak Margin)	－18 **(－20)**
452	S/PDIF コピープロテクト設定 (SPDIF Copy Protect)	ON **(OFF)**
453	スタンバイ設定 (STBY Standby Position)	**(TOP)** FREE
454	PAUSE ボタンに一時停止解除の有効・無効設定 (PAUSE Key on Pause)	**(resume rec/play)** no effect
455	再生中のスキップ、バックシキップの有効・無効設定 (Dial-scroll on play)	**(skip/backskip)** no effect
456	カウンタ画面でのスクロール操作選択 (Dial on Counter-screen)	**(Playback control)** **Move index**
457	STOP/NEXT モード時のマークジャンプ有効・無効設定 (Markjump on StopNext)	**enable (disable)**
458	再生中に CF カードカバーを開けた時の警告ブザーの有効・無効 (CF Cover Buzzer)	**(enable) disable**
460	外部制御設定 (External Input)	３ビットアドレスモード ２ビットアドレスモード **(トランスポートキーモード)** ２－４．参照
470	外部制御設定 (External Output)	２－４．参照
481	表示輝度調整 (Display Brightness)	１～８ **(4)**
482	起動時ラインオン設定 (Initial Line Status)	**(On)** Off
483	起動時ロックボタン設定 (Initial Lock Status)	On **(Off)**
484	ラインボタン設定 (Line Key)	**(Enable)** Disable
485	パスワード設定(Pass Word)	**(0000)** **表示は 9999**
486	日付設定(Date)	-
487	時刻設定(Time)	-
489	ＵＳＢモード選択(USB Mode)	DIRECT **(COPY)**
490	ＩＰアドレス設定(IP Address)	数値入力 **(192.168.1.1)**
491	サブネットマスク設定 (Subnet Mask)	数値入力 **(255.255.255.0)**
492	ＭＡＣアドレス表示 (MAC Address)	-
493	シリアル番号表示(Serial No.)	-
494	バージョン表示(Version)	-
495	バージョンアップ (Version Up)	-
4A0	シリアルポート (Serial Protocol) 背面パネルのＥＸＴコネクタ設定に使用	Serial PortPritocol Serail Baughrate
4A1	選択(Serial Protocol) 接続先のプロトコルを選択。	**(RU10)** A モード B モード

4A2	シリアルボーレート (Serial Baudrate) 背面パネルのＥＸＴコネクタ設定を、リモコン用からシリアル制御用に変更した場合に有効。	**(38400)** 4800,9600, 19200,38400

４－８．メディアメンテナンス

ＭＥＮＵ画面より、スクロールダイアルでＭｅｄｉａ Ｍａｉｎｔｅｎａｎｃｅを選択し、ＥＮＴＥＲを押すと、次の機能が選択できます。

- **Ｃｌｅａｎｕｐ：メディア内消去**
- **Ｆｉｌｅ　Ｄｅｌｅｔｅ：指定ファイル削除**
- **Ｍｅｄｉａ　Ｃｏｐｙ：メディア間コピー**
- **Ｆｏｒｍａｔ：メディアのフォーマットを行います。**

ＭＥＮＵ／ＥＳＣボタンを押すと、ＭＥＮＵ画面に戻ります。

スクロールダイアルでコマンドを選択します。

４－８－１．Cleanup

選択したＣＦカードまたはＵＳＢメモリ内のリスト上にない素材を全て削除します。

※当社他製品のポン出しリスト（ＢＷＦ－Ｊ規定のポン出しリスト）にて参照されている素材は削除されません。

４－８－２．File Delete

素材を指定しての削除が行なえます。

※当社他製品のポン出しリスト（ＢＷＦ－Ｊ規定のポン出しリスト）にて参照されている素材は削除されません。

４－８－３．Media Copy

ＣＦカード→ＵＳＢメモリ、ＵＳＢメモリ→ＣＦカード間での素材コピーを行ないます。

一旦、コピーを開始すると既存の内容は削除され、復旧できませんので、ご注意ください。

ＣＦカード→ＵＳＢメモリへのコピーにおいて、ＵＳＢメモリの内容を削除せず追加コピーする手段は、ＵＳＢモードのＣＯＰＹモードにおける自動コピー機能だけです。

４－８－４．Format

メディアのフォーマットを行います。メディアのフォーマットはこの操作で行ってください。

５．ライセンスについて

本装置は、ＧＰＬ／ＬＧＰＬライセンス適用ソフトウェアを使用しており、お客様には、これらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせします。

最新の使用コードの情報と、ソースコードの入手方法は当社営業窓口にお問い合わせください。

また本装置は、Mersenne Twister 疑似乱数を使用しています。Mersenne Twister 疑似乱数のライセンス情報を、次に示します。

Copyright (C) 1997 - 2002, Makoto Matsumoto and Takuji Nishimura,All rights reserved.
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. The names of its contributors may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

６．主な仕様

アナログ入力	ステレオ１系統
	コネクタ：RCA
	基準レベル：-10dBV
デジタル入力	S/PDIF（44.1kHz,48kHz のみ）
	コネクタ：RCA
アナログ出力	ステレオ１系統
	コネクタ：RCA
	基準レベル：-10dBV
デジタル出力	S/PDIF（44.1kHz,48kHz のみ）
サンプリング周波数	32kHz,44.1kHz,48kHz
外部同期源	なし
周囲温度	５℃～３５℃
電源	１００Ｖ　５０Ｈｚ/６０Ｈｚ
消費電力	13.5W
使用メディア	USB メモリ、CF カード
ファイルフォーマット	FAT16（2GB までの容量のメディア） FAT32（2GB を超える容量）

興和株式会社
電機光学事業部　放送機器本部
放送機器営業部

〒103-8433
東京都中央区日本橋本町３丁目４－１４
TEL　03-5623-8074
FAX　03-5623-8070
〒541-8511
大阪府大阪市中央区淡路町 2-3-5
TEL　06-6204-6186
FAX　06-6204-6188

© 2009Kowa Company, Ltd. All rights reserved.
Printed in Japan　　Ver JP01.06.00